

■nasuPostgreSQLVACUUMは!!

✓PostgreSQLのVACUUM FULL <テーブル名>を実行するためのバッチファイルを作成するためのものです。

～ VACUUMは、テーブル毎に実行しないと最適化されないようです。

pg_repackは、Windows版があるらしいですが…敷居が高くて。

✓REINDEXに対応しました。(ver 1.2.78以降)

nasuPostgreSQL VACUUM ver: 1.2.78.0

PostgreSQL

Host name: 192.168.10.100
Port: 5432
User name: postgres
Password: *****
DB Name: postgres

検索 ☐ MODE: REINDEX ☒ システム日付の年月と同じときも、VACUUM / REINDEXする 設定(準備) 接続解除

☒ VACUUM / INDEX: All ☒ バッチファイルにDB Nameを付与 64G 0

☒ (VERBOSE, ANALYZE) で実行する 実行基準 100 MB (100 ~ 9999) VACUUM App Bat VACUUM

Check	DATE	TABLE_NAME	PARTITION yyyyymmdd	Newest Size(MB)	Previous Size(MB)	Diff Size(MB)	N_LIVE_TUP	LAST VACUUM
	2025/08/11	pg_stat_statements		1.18	0.00	1.18	6,234.00	
	2025/08/11	pg_stat_all_tables		1.42	1.22	0.20	4,922.00	2025/07/10 20:17:09
				0.06	0.00	0.06	8.00	2025/07/10 20:15:21
				0.06	0.00	0.06	2.00	2025/07/10 20:15:22
				0.09	0.00	0.09	167.00	2025/07/10 20:15:22
				0.74	0.00	0.74	5,082.00	2025/07/10 20:17:09
				0.06	0.00	0.06	98.00	2025/07/10 20:15:22
				0.06	0.00	0.06	36.00	2025/07/10 20:15:22
	2025/08/11	pg_stat_bgwriter		0.01	0.01	0.00	0.00	2025/07/10 20:15:22
	2025/08/11	hitmd11		247.85	247.85	0.00	561,726.00	2025/07/10 20:17:38
						0.00	10,505.00	2025/07/10 20:17:10
						0.00	127,957.00	2025/07/10 20:17:21
						0.00	11,439,840.00	2025/07/10 20:18:53
						0.00	127,957.00	2025/07/10 20:17:10
						0.00	352,618.00	2025/07/10 20:17:25
	2025/08/11	hitmd100		239.48	239.48	0.00	682,299.00	2025/07/10 20:17:34
	2025/08/11	hitmd110		3,082.15	3,082.15	0.00	8,280,987.00	2025/04/05 07:42:01
	2025/08/11	hitmd100		3.01	3.01	0.00	12,138.00	2025/07/10 20:17:11

・データベースの接続情報を入力して
[接続]ボタンを押してください。

本ツールを利用する前に、準備が必要です

■動作させるためには、

設定(準備)

- 1). 管理テーブルとfunctionを作成する必要があります。
- 2). タスクスケジューラーなどで、定期的に管理テーブルに容量を取得する必要があります。(サンプルバッチファイルを提供します)

作者へ連絡は、nasubyjp@gmail.com まで

ご利用に際しては、最終ページの「ご利用について」をお読みください。



実行する前に準備として…

- 1). DBにログオンする。
- 2). **設定(準備)** を押して、該当する管理テーブル/function/バッチファイルを作成してください。

Cheking Application 閉じる

User : osk / Db : dbosk

_HIS_INDEX_SIZE :	OK	作成
_HIS_PG_STAT_ALL_TABLES :	OK	作成
func_HIS_INDEX_SIZE() :	OK	作成
batfunc_HIS_INDEX_SIZE.bat:	OK	作成
batHIS_PG_STAT_ALL_TABLES.bat	OK	作成

[作成]で
準備されます。

- 3). bat…は、[作成]すると、アプリがあるフォルダーに *.bat.txtファイルが作成されるので、.txtの拡張子を削除(取り除いて)、手動で起動して対象のユーザー/DataBaseに、レコードが追加されるか確認してください。

_HIS_INDEX_SIZE : インデックスの容量

_HIS_PG_STAT_ALL_TABLES : テーブル毎の容量

- 4). タスクスケジューラー等で、2)で作成されたバッチファイルを定期的(毎日)に実行してください。

作者へ連絡は、nasubyjp@gmail.com まで
ご利用に際しては、最終ページの「ご利用について」をお読みください。



操作① : VACUUMバッチファイルの作成(REINDEXも同じ)

- ・接続すると最新のテーブル情報を表示します。
- ・[VACCUM]ボタンで、アプリがあるフォルダに「_batVACUUM_Start.bat」がアプリフォルダ作成されます。

作成されたバッチファイルを、起動するとテーブル毎のVACCUMが行われます。

VACCUM FULL <テーブル名>

- ・[A]ボタンを押すと、「_batVACUUM_CreateBatFile_???.bat」が作成されます。これは、本アプリを自動実行させるときのサンプルです。(次ページ参照)

The screenshot shows the 'nasuPostgreSQL VACUUM ver: 1.2.78.0' application window. It includes a connection settings panel on the left, a main control area with checkboxes for 'MODE: REINDEX' and 'VACUUM / INDEX. All', and a table of database statistics. Callouts provide detailed instructions on how to use these features.

・[MODE REINDEX]で INDEXの再作成モードになります。

・ここにチェックをすると、すべてのテーブルのバッチファイルが作成できます。

・最新と前回の差で、100MBの容量差があるときに、VACUUM実行対象とします。

・PARTITIONテーブルで、システム日付の範囲(2025/06/24のときは、20250601)と同じときは、このチェック(✓)をしないと VACCUMされません

Check	DATE	TABLE NAME	PARTITION	Newest Size(MB)	Previous Size(MB)	Diff Size(MB)	N LIVE TUP	LAST VACUUM
	2025/08/11	his_index_size						
	2025/08/11	his_m_mddp		0.05	0.05	0.00	98.00	2025/07/10 20:15:22
	2025/08/11	hitml00000000		1,032.36	1,032.36	0.00	11,439,840.00	2025/07/10 20:18:53
	2025/08/11	hitml010		28.29	28.29	0.00	127,957.00	2025/07/10 20:17:10
	2025/08/11	hitml03						
	2025/08/11	hitml10						
	2025/08/11	hitml11						
	2025/08/11	hitml20						

作者へ連絡は、nasubyjp@gmail.com まで

ご利用に際しては、最終ページの「ご利用について」をお読みください。



操作② : 自動実行

引数として、下記を指定することで自動実行します。

「DBに直接書き込みをする」として☑されており、かつ
事前にサーバーにログインし、必要な情報を登録したものに限りです。

- ・ VACUUM / REINDEXの同時実行 (/MODE:の指定をしない)

```
nasuPostgreSQLVACUUM.exe /S:AUTO /H:<Host name> /D:<DB Name>
```

- ・ VACUUM のみ実行

```
nasuPostgreSQLVACUUM.exe /S:AUTO /H:<Host name> /D:<DB Name> /MODE:VACUUM
```

- ・ REINDEX のみ実行

```
nasuPostgreSQLVACUUM.exe /S:AUTO /H:<Host name> /D:<DB Name> /MODE:REINDEX
```

パラメータとの間には
スペースを入れてください。

Host Name / DB Nameに
一致する値を、引数に指定し
てください。

補足

- ・ 実行モジュールを配置したフォルダ配下にログフォルダが作成されます。
ログフォルダには、実行履歴が記録されています。

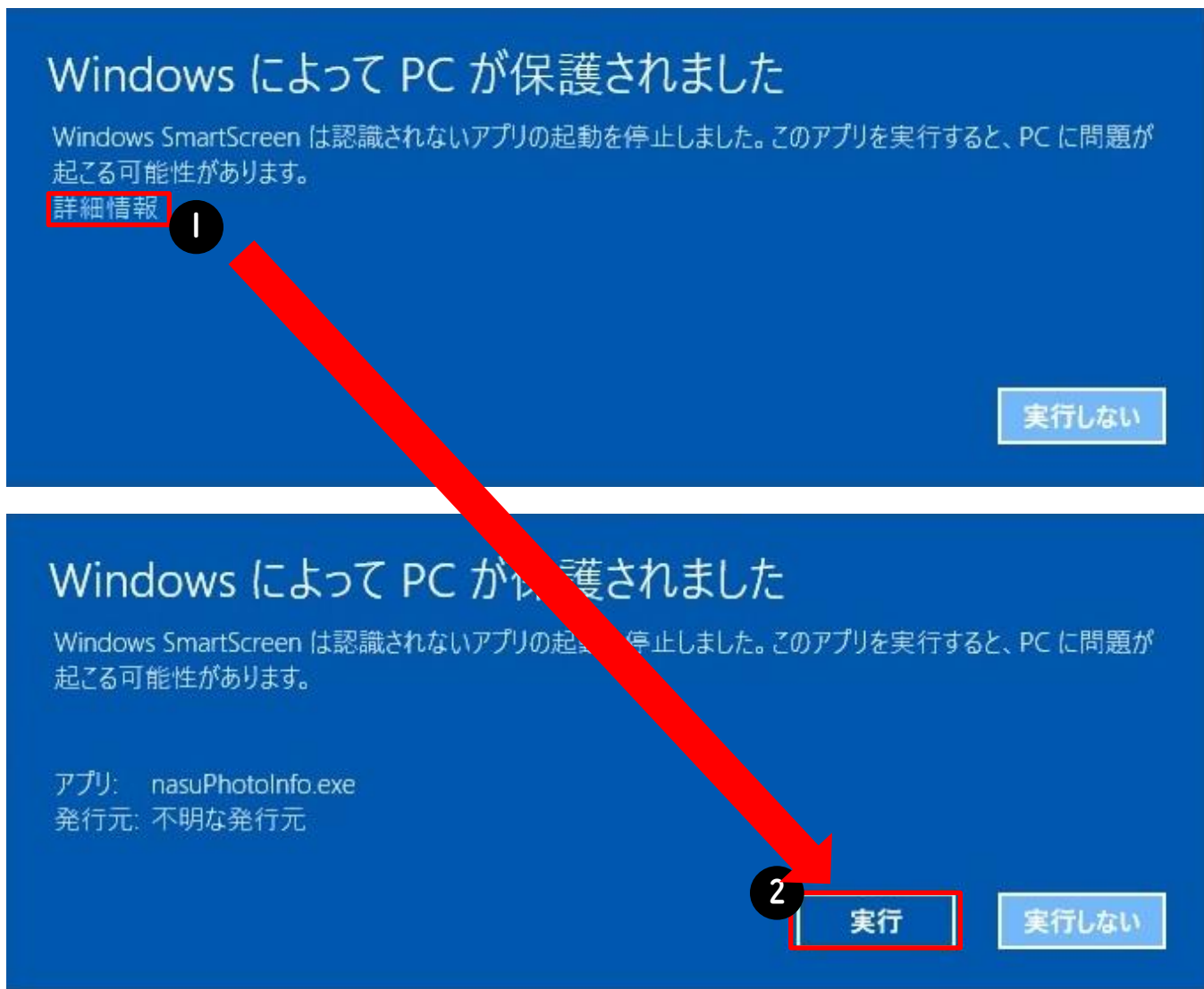
作者へ連絡は、nasubyjp@gmail.com まで
ご利用に際しては、最終ページの「ご利用について」をお読みください。



Windows10/11で動作

Windows10で、起動すると下記のような画面が表示される場合があります。
画面が表示されたら、手順にそって起動してください。

- ① [詳細情報]をクリック
- ② [実行]をクリック



ご利用について

1. 本ソフトウェアについて

- ・本ソフトウェアの取扱い種別は、フリーソフトです。
- ・本ソフトウェアを利用した事により損害が発生しても、作者(nasuby)は一切の責任を負いません。自己の責任の上で使用して下さい。
- ・本ソフトウェアの動作を、作者(nasuby)は保証するものではありません。
- ・配布、転載、雑誌掲載など自由に行ってください。(事後報告お願いいたします。)
- ・その他ソフトを使用することで直接的に利益を生じる使い方をする場合は連絡して下さい。
- ・感想や要望、バグなどありましたらメールでお願いします。バグや要望など出来る範囲で応えたいします。

2. 著作権等について

- ・著作権を含む、本ソフトウェア(本体、及び一部付属ファイル)の各種知的財産権については、作者(nasuby)が保持しています。
- ・ただし、本ソフトウェアの各暗号アルゴリズム及び一部コード、各種ソフトウェア等に関しては、それぞれの権利者が各種知的財産権を有しております。作者(nasuby)は、許諾済み or 使用フリー or 特許未出願 or ライセンス使用料納付済み等を行い、使用しています。

3. その他

- ・動作環境 Windows10 / 11
- ・必要なソフトウェア
.NET Framework 4.7.2

※ 詳細については、下記URLから参照してください。

<http://nasubyjp.gl.xrea.com/>

